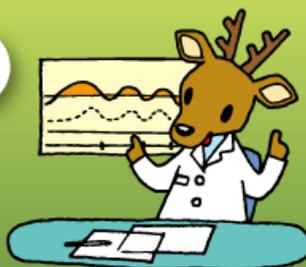


病気と向き合うサイトなら



H 糖尿病



気になる症状や病気、検診結果、病気の中身、治療の内容など、あなたの年齢や性別、状況に合わせた情報を提供いたします。



糖尿病コンテンツ



▶ 気になる健康と病気

糖尿病がどんな病気なのか、病気を予防するためにどんな生活が望ましいかについて解説します。



▶ 健康診断の結果の チェック

健康診断の結果などをご用意ください。検査結果から、指摘された異常をチェックしたり、理解を深めたりすることができます。



▶ 病気と診断された

病気と診断され、これから治療を受けられる方が、納得して治療を受けられるようお手伝いをします。



▶ 治療を受けている

現在治療を受けている患者さんやご家族の方を対象に、病気とつきあっていくためのポイントを整理します。

『糖尿病の健康診断の結果のチェック』についての解説です。

病気と向き合うサイトなら

糖尿病 ホーム	気になる健康	健康診断の結果のチェック	病気と診断された	治療を受けている	
---------	--------	--------------	----------	----------	--



異常があった検査項目は？





あなたが選んだ検査項目



■ ■ ■ 正常値でなければ、必ず受診して、
検査結果を医師に判断してもらいましょう。

空腹時血糖値	110mg/dl未満
糖負荷試験 2時間血糖値	140mg/dl未満
2つの結果ともこの範囲に入れば、 糖尿病ではない(正常)と判断されます。	

空腹時血糖値	126mg/dl以上
糖負荷試験 2時間血糖値	200mg/dl以上
1つの結果でもこの範囲に入れば、 糖尿病型と判断されます。 別の日にもう一度同じ検査を行い、再び上記の数値 を示した場合は、糖尿病と診断されます。	

正常、糖尿病のどちらにも
入らない方は「境界型」に
なるわ。



これ以外にも、血糖値の状態を表すHbA1c(ヘモグロビン エーワンシー)検査があります。
検査の結果によっては、糖尿病が疑われる可能性があります。
自分で判断せず、必ず受診をしましょう。



糖尿病を放置すると危険？



合併症の定期検査、糖尿病コントロールが大切です。

糖尿病発症

5年

10年

20年

末梢神経障害

単純性網膜症

早期腎症

腎症の悪化

動脈硬化

網膜症の悪化

失明・透析

心筋梗塞・脳卒中



注意

ただし、合併症の可能性は血糖が異常になってからの年数や年齢、性別、高脂血症や高血圧などの持病などの様々な要因で変化します。たとえ、合併症の可能性が低くても、医師とよくご相談ください。

step ① 病気を
選ぶ → step ② 検査結果を
理解する → step ③ 合併症を
知る → step ④ 精密検査を
知る



糖尿病の精密検査



それぞれの検査の
説明をご覧ください。





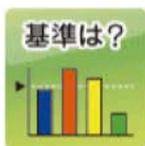
あなたが選んだ検査項目



血糖値が高くなる原因を予測します。



膵臓からのインスリン分泌量を調べます。



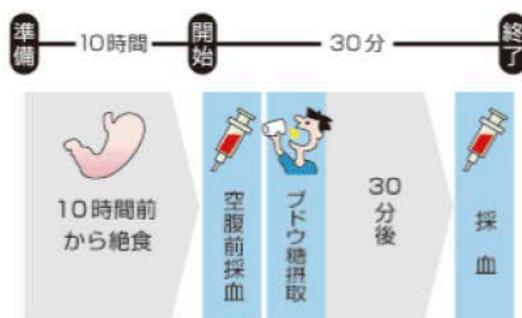
インスリン分泌検査
空腹時1.84~12.2

! 注意

検査会社により、基準値に差があるため、数値に幅をもたせて記載しています。



血液検査で、糖負荷試験と同時に行われることが多い検査です。



850円程度 (2014年12月調べ)
※3割負担でインスリン分泌検査を単独で実施した場合

! 注意

治療や他の検査を同時に行った場合は金額が変わりますので、参考にしてください。



あなたが選んだ検査項目



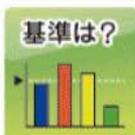
糖尿病の有無をみます。

! 注意

必須の検査ではありません。
医師の判断で実施されない
ことがあります。



時間ごとの血液中の血糖変化をみて、
糖尿病かどうかを判定します。

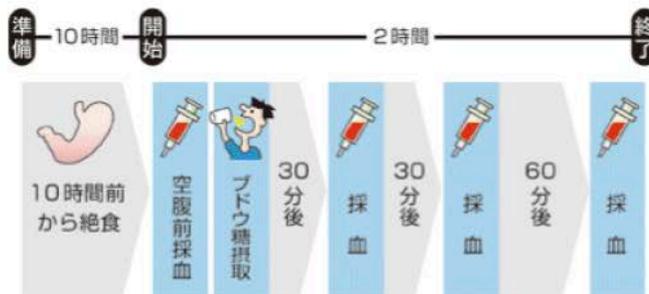


下の表の数値を基準としています。

	血糖測定時間			判定区分
	空腹時	または	負荷後2時間	
血糖値(静脈血漿)	126mg/dl 以上	または	200mg/dl 以上	糖尿病型
	糖尿病型にも正常型にも属さないもの			境界型
	110mg/dl 未満	および	140mg/dl 未満	正常型



おおよそ、次のような手順で検査を行います。



3,000円程度 (2014年12月調べ)
※3割負担で糖負荷試験検査を単独で実施した場合

! 注意

治療や他の検査を同時に行った場合は金額が
変わりますので、参考にしてください。



あなたが選んだ検査項目



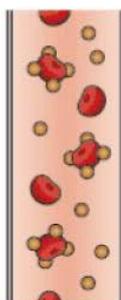
糖尿病の状態をみます。



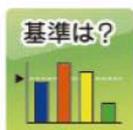
赤血球にくっついたブドウ糖を調べます。
最近1~2カ月の間、あなたの血糖値が高かったかどうかわかります。

解説

ヘモグロビンは赤血球の中にあるたんぱく質で、血管内のブドウ糖と結合して、グリコヘモグロビン(HbA1c)を形成します。
赤血球の寿命は約120日(4カ月)と言われており、その間体内を巡って血管内のブドウ糖と少しずつ結びつきます。高血糖、つまり糖が多ければ多いほど、このグリコヘモグロビンも多くなるということです。



ブドウ糖
ヘモグロビン
グリコヘモグロビン (HbA1c)



6.5% (NGSP値) 以上なら、糖尿病の可能性が高いと判断されます。



採血による血液検査です。
事前の準備が不要ですので、いつでも(食後でも)検査を受けることができます。



650円程度 (2014年12月調べ)
※3割負担でHbA1c検査を単独で実施した場合



治療や他の検査を同時に行った場合は金額が変わりますので、参考にしてください。



あなたが選んだ検査項目



合併症に関する検査は、以下のようにさまざまです。健康診断の結果からだけでは、合併症検査のうちあなたにとってどれが必要であるかまでをお示しすることはできません。医師によくご相談ください。

合併症名	検査名
	アキレス腱反射、振動覚検査、触覚検査、抹消神経伝達速度、心電図RR間隔変動の測定
	眼底検査
	尿中アルブミン排泄量、尿たんぱく定量 クレアチニンクリアランス
	心電図、心臓超音波診断検査、冠動脈造影検査、電子ビームCT検査、タリウム心筋シンチグラフィ
	頸動脈エコー、頭部X線CT、頭部MRI、MRA、脳血流シンチグラフィ
	足関節血圧/上腕血圧 (ABI)、脳波伝播速度 (PWV)、超音波ドップラー法に夜血流測定、神経障害の検査、神経障害の検査、経皮酸素分圧、下肢MRA、IV-DSA

注意

診療報酬の改訂や、個人の状態、医療機関、医師によって、時間、費用、検査の準備や手順などに異なる部分があります。
なお重い病気などで長期入院したり、治療が長引いて医療費の自己負担額が高額になった場合、一定の金額(自己負担限度額)を超えた部分が払い戻される高額医療費制度があります。
ただし、保険外併用療養費の差額部分や入院時食事療養費、入院時生活療養費の自己負担額は対象になりません。
詳しくは受診時に健康保険証の発行元や医療機関等にご確認ください。



糖尿病の精密検査を比較する



検査の目的	糖分を摂取した時の血糖変動の様子を調べる	血糖を下げるインスリンが分泌されているかを調べる	過去1～2ヶ月の糖尿病の状態を調べる
検査の方法	空腹で採血後、ブドウ糖の溶けた水を飲み、それぞれ30分後／60分後／120分後に採血を実施  ×4	糖負荷試験と同時実施の検査。単独で行う場合は、多くて2回の採血を実施  ×2	1回の採血のみ  ×1
検査前の準備	前日の夜から絶食で10時間以上の絶食状態が必要  	前日の夜から絶食で10時間以上の絶食状態が必要  	特に必要なし
時間	2時間程度  2h	採血が1回、あるいは2回の検査で、最長30分程度必要  30min	5分程度 (1回の採血にかかる時間)  5min
概算費用	3割負担で 3,000円程度 (2014年12月調べ)	3割負担で 850円程度 (2014年12月調べ)	3割負担で 650円程度 (2014年12月調べ)

糖尿病 ホーム

気になる健康

健康診断の
結果のチェック

病気と診断された

治療を受けている



医療機関をさがす

下の青い文字をクリックすると、
『なら医療情報ネット』へ移動
します。

病院を探す時の
参考にしてくださいね。



なら医療情報ネット

<https://www.qq.pref.nara.jp/qq29/qqport/kenmintop/>

注意事項

このPDFでは、皆様が医療機関を受診する前に知りたいこと、気になること、知っておきたいことをお示しています。しかし、皆様の身体の状況、遺伝的素因、生活環境、疾患の特殊性など、さまざまな要因によってお示している状況と異なる場合もございます。最終的には、医療機関を受診し、医師あるいは医療スタッフと相談の上、総合的なご判断をいただく事をお勧めいたします。

利用規約

掲載されている情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その内容の正確性及び安全性を保証するものではありません。

掲載されている情報によって被った損害、損失に対して一切の責任を負いません。